

II 個別事業

第1 法人運営

1 組織運営

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	評議員会		市		

結果の概要

○法人の予算、決算、事業計画、事業報告及び業務又は財産の状況等に関する議決を行うために評議員会を年3回開催した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	6月23日 201～203 会議室	議案第1号 令和4年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会資金収支補正 予算（第1号） 議案第2号 令和3年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会事業報告 議案第3号 令和3年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会決算
第2回	12月22日 201～203 会議室	議案第4号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会第26期理事の選任 議案第5号 令和4年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会資金収支補正 予算（第2号） 議案第6号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁 償に関する規則の一部改正 議案第7号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁 償に関する規則の一部改正
第3回	3月23日 201～203 会議室	議案第8号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会第26期理事の選任 議案第9号 令和4年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会資金収支補正 予算（第3号） 議案第10号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁 償に関する規則の一部改正 議案第11号 令和5年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会事業計画 議案第12号 令和5年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会資金収支予算

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)	評議員選任・解任委員会		市		

結果の概要

○理事会から推薦された評議員候補者について、選任の決議を行った。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	6月8日 団体室	○第25期社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員の選任
第2回	9月22日 団体室	○第25期社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員の選任
第3回	12月9日 応接室	○第25期社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員の選任

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)	理事会		市		

結果の概要

- 法人内の業務の決定、予算、決算、事業計画、事業報告等の議決を行うために、理事会を年4回開催した。
- 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、第3回は理事全員から書面により同意の意思表示を得たうえで決議の省略とした。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	6月8日 201~202 会議室	議案第1号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会第25期評議員候補者の推薦
		議案第2号 令和4年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会資金収支補正予算(第1号)
		議案第3号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会調布市希望の家運営規程の一部改正
		議案第4号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会希望の家深大寺運営規程の一部改正
		議案第5号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会調布市総合福祉センター通所介護等運営規程の一部改正
		議案第6号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会放課後等デイサービス管理運営規程の一部改正
		議案第7号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会障害者訪問系サービス事業運営規程の一部改正
		議案第8号 令和3年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会事業報告
		議案第9号 令和3年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会決算
		議案第10号 令和4年度役員賠償責任保険の加入について
		議案第11号 令和4年度第1回社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集
		議案第12号 令和4年度第1回社会福祉法人調布市社会福祉協議会

		評議員会（定時評議員会）の招集
第2回	9月21日 201～202 会議室	<p>議案第13号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会第25期評議員候補者の推薦</p> <p>議案第14号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会職員の育児・介護休暇等に関する規則の一部改正</p> <p>議案第15号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会臨時職員就業規則の一部改正</p> <p>議案第16号 令和4年度第2回社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集</p>
第3回	12月7日 201～202 会議室	<p>議案第17号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会第26期副会長の選任</p> <p>議案第18号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会第25期評議員候補者の推薦</p> <p>議案第19号 令和4年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会資金収支補正予算（第2号）</p> <p>議案第20号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会定款施行細則の一部改正</p> <p>議案第21号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償に関する規則の一部改正</p> <p>議案第22号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会部会設置及び運営規程の一部改正</p> <p>議案第23号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会機関紙等発行規程の一部改正</p> <p>議案第24号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会情報公開規程の一部改正</p> <p>議案第25号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会運営規程の一部改正</p> <p>議案第26号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会文書管理規程の一部改正</p> <p>議案第27号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会職員等旅費支給規程の一部改正</p> <p>議案第28号 令和4年度第3回社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集</p> <p>議案第29号 令和4年度第2回社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員会の招集</p>
第4回	3月15日 201～202 会議室	<p>議案第30号 令和4年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会資金収支補正予算（第3号）</p> <p>議案第31号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会役員等の報酬に関する規則の一部改正</p> <p>議案第32号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会職員就業規則の一部改正</p> <p>議案第33号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会職員給与規則の一部改正</p>

	議案第34号	社会福祉法人調布市社会福祉協議会嘱託職員就業規則の一部改正
	議案第35号	社会福祉法人調布市社会福祉協議会職員の人事考課制度に関する規程の制定
	議案第36号	社会福祉法人調布市社会福祉協議会事務局組織規程の一部改正
	議案第37号	社会福祉法人調布市社会福祉協議会経理規程の一部改正
	議案第38号	社会福祉法人調布市社会福祉協議会職員の期末手当及び勤勉手当に関する規程の一部改正
	議案第39号	社会福祉法人調布市社会福祉協議会障害者訪問系サービス事業登録居宅介護員職務規程の一部改正
	議案第40号	令和5年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会事業計画
	議案第41号	令和5年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会資金収支予算
	議案第42号	令和4年度第3回社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員会の招集

番号	事業名	財源			
		自主	補助 市	委託	事業
(4)	三役会				

結果の概要

○理事会、評議員会開催へ向けての調整など、法人内の業務や、人事の調整等を行うために三役会を年4回開催した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	6月1日 団体室	○第1回理事会への提出案件等
第2回	9月8日 団体室	○第2回理事会への提出案件等
第3回	12月1日 団体室	○第3回理事会への提出案件等
第4回	3月9日 団体室	○第4回理事会への提出案件等

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(5)	監査会		市		

結果の概要

○理事の業務執行の状況、事業の執行状況及び財産の状況を監査するため、令和3年度決算監査と令和4年度上半期監査を開催した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	5月24日 201・202会議室	○前回（令和3年度上半期）監査講評における留意事項について（報告） ○令和3年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会決算（事業・経理）説明 ○監査実施 ○監事からの講評
第2回	11月24日 団体室	○前回（令和3年度決算監査）監査講評における留意事項について（報告） ○令和4年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会上半期監査（事業・経理）説明 ○監査実施 ○監事からの講評

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(6)	第三者委員会議	基			

結果の概要

○苦情・要望の受付及び対応について報告し、解決の過程及び改善策について第三者委員よりアドバイスをいただいた。また、事故について報告した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	9月21日 団体室	○苦情・要望の受付、事故の報告 令和4年3月～令和4年8月分 出席委員3人
第2回	3月6日 団体室	○苦情・要望の受付、事故の報告 令和4年9月～令和5年2月分 出席委員2人

番号	事業名	財源			
		自主 基	補助	委託	事業
(7)	表彰審査委員会				

結果の概要

○永年にわたって地域福祉活動やボランティア活動に参加・協力いただいた市民や団体並びに福祉事業に対する高額寄付者などを対象に、表彰基準に照らし合わせ顕彰者を決定した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	8月3日 視聴覚室	○表彰状対象者（団体）の審査・選出 ○感謝状対象者（団体）の審査・選出

分析・課題

○市民による推薦は0件であった。地域で活動されている方を推薦していただけるよう、市報・ふくしの窓・ホームページ等を活用し広く広報を行う。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(8)	社協経営会議		市		

結果の概要

○会長、常務理事、管理職を構成メンバーとし、社協が抱える問題や緊急課題に対応するため毎月1回を基本に開催した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	4月4日 団体室	○決算理事会・定時評議員会案件等 ○調布市財政援助団体監査報告について ○総合福祉センター整備に関する考え方について ○年度当初スケジュール確認
第2回	5月2日 団体室	○決算理事会・定時評議員会案件等 ○決算監査日程確認 ○第6次調布市地域福祉活動計画の策定について ○人事考課制度について ○災害時の法人としての対応等の検討
第3回	6月6日 団体室	○決算理事会・定時評議員会案件等 ○むらさきロータリークラブの寄付について ○虐待防止委員会
第4回	7月4日 団体室	○9月の理事会案件等 ○新しい総合福祉センター検討の進捗（報告）
第5回	8月1日 団体室	○9月の理事会案件等 ○新型コロナウイルス感染状況と対応について

		○福祉大会について ○福祉まつりについて
第6回	9月5日 団体室	○9月の理事会案件等 ○第34回調布市福祉大会（法人化50周年記念式典）について ○第45回調布市福祉まつりの実施について ○希望の家深大寺修繕計画に伴う改修工事について ○総合福祉センター移転に伴う検討等について ○虐待防止委員会
第7回	10月3日 団体室	○12月の理事会・評議員会案件等 ○第34回調布市福祉大会（法人化50周年記念式典）について ○令和5年度予算要求 ○台風15号による被害に伴う災害ボランティアセンター運営にかかる静岡市清水区への職員派遣のついて
第8回	11月7日 団体室	○12月の理事会・評議員会案件等 ○令和4年度上半期監査の実施について ○総合福祉センターの設備・機能に関する検討会の報告 ○第45回調布市福祉まつりについて ○総合福祉センター更新についての進捗 ○令和4年台風15号による被害に伴う災害ボランティアセンターへ派遣職員
第9回	12月5日 団体室	○3月の理事会・評議員会案件等 ○新型コロナウイルス感染状況について ○虐待防止委員会
第10回	1月4日 団体室	○3月の理事会・評議員会案件等 ○令和5年度予算について ○職員の人事考課及び嘱託職員の自己申告の実施について
第11回	2月6日 団体室	○3月の理事会・評議員会案件等 ○特例貸付に伴う委託金の使途について ○職員の定年引上げについて ○「総合福祉センターの機能・設備に関する検討会」の進捗について ○国際ソロプチミスト東京ー調布チャリティーコンサートへの協力
第12回	3月6日 団体室	○3月の理事会・評議員会案件等 ○総合福祉センター移転に係る調布駅前機能について ○4月から自転車のヘルメット着用が努力義務化について ○虐待防止委員会

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(9)	社協管理職会議				

結果の概要

○管理職を構成メンバーとし、社協の課題を共有し課を超えて連携をはかるために毎月1回を基本に開催した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	4月26日 団体室	<ul style="list-style-type: none"> ○決算理事会・定時評議員会案件等 ○第6次調布市地域福祉活動計画の策定について ○法人研修について ○令和6年度から策定義務化の障害福祉サービス及び介護事業所BCPについて ○調布駅周辺帰宅困難者等対策協議会（報告） ○各課の主な事業
第2回	5月25日 団体室	<ul style="list-style-type: none"> ○決算理事会・定時評議員会案件等 ○人事考課規程（案）について ○再任用職員の業務における役割・人事考課の在り方について ○個人情報の取扱いに関して ○リバウンド警戒期間後の対応方針について ○各課の主な事業
第3回	6月28日 団体室	<ul style="list-style-type: none"> ○9月の理事会案件等 ○職員のメンタルヘルスへの対応について ○法人の障がい者雇用の方向性について ○各課の主な事業
第4回	7月26日 団体室	<ul style="list-style-type: none"> ○9月の理事会案件等 ○新型コロナウイルスへの対応について ○各課の主な事業
第5回	8月23日 団体室	<ul style="list-style-type: none"> ○9月の理事会案件等 ○正規職員の採用について ○人事考課について ○財政援助団体監査の指摘事項への対応 ○新しい総合福祉センターの検討について ○各課の主な事業
第6回	9月27日 団体室	<ul style="list-style-type: none"> ○12月の理事会・評議員会案件等 ○第三者委員会の振り返り ○福祉大会について ○令和5年度予算要求について ○各課の主な事業
第7回	10月25日 団体室	<ul style="list-style-type: none"> ○12月の理事会・評議員会案件等 ○令和4年度上半期監査 ○調布市福祉まつり職員の協力依頼について ○第6次調布市地域福祉活動計画について ○法人各事業所共通の虐待防止研修について ○総合福祉センターの設備・機能に関する検討会 ○台風15号による被害に伴う災害ボランティアセンターへの職員派遣の延長について ○各課の主な事業

第8回	11月22日 団体室	<ul style="list-style-type: none"> ○12月の理事会・評議員会案検討 ○令和4年度上半期監査 ○調布市福祉まつりについて ○台風15号による被害に伴う災害ボランティアセンターへの職員派遣報告会 ○法人の中長期に向けた方向性の共有について ○各課の主な事業
第9回	12月27日 団体室	<ul style="list-style-type: none"> ○3月の理事会・評議員会案件等 ○令和5年度予算 ○各課の主な事業
第10回	1月24日 団体室	<ul style="list-style-type: none"> ○3月の理事会・評議員会案件等 ○総合福祉センター移転に伴う調布駅前機能整備の状況について ○各課の主な事業
第11回	2月28日 団体室	<ul style="list-style-type: none"> ○3月の理事会・評議員会案件等 ○令和5年度からの新型コロナに伴う勤務等の方向性について ○職員研修推進マニュアル(案)について ○身体拘束適正化指針の策定について ○各課の主な事業
第12回	3月28日 団体室	<ul style="list-style-type: none"> ○4月の理事会の案件等 ○6月の理事会・定時評議員会案件等 ○令和5年度人事考課制度の実施について ○法定事業所の協力医療機関について ○令和5年度事業担当について ○各課の主な事業

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(10)	社協運営会議				

結果の概要

- 組織運営、事業運営等をスムーズに運ぶために、管理職及び係長職(相当職を含む)を構成メンバーとし、法人全体として経営会議、管理職会議の報告と各係からの報告と提案を行なうために、毎月1回開催した。
- 危機管理委員会としても位置付け、苦情、要望、事故、ヒヤリ・ハット事例の共有を図った。
- 第6次調布市地域福祉活動計画についての共有や、総合福祉センター移転に関して等法人全体の課題を協議した
- 令和4年度もZoomを活用し、移動時間を要することなく参加が可能となり効率化を図った。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	4月5日 視聴覚室・Zoom	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス特例貸付について ○地域福祉係職員研修報告

		<ul style="list-style-type: none"> ○年度初めの確認事項について ○危機管理委員会
第2回	5月10日 視聴覚室・Zoom	<ul style="list-style-type: none"> ○地域福祉活動計画・CSW・SCと連携した小地域交流事業の進め方について ○第6次調布市地域福祉活動計画策定について ○人事考課制度について ○災害時の法人としての対応等の検討 ○生活支援員募集について ○危機管理委員会
第3回	6月7日 視聴覚室・Zoom	<ul style="list-style-type: none"> ○むらさきロータリークラブからの寄付について ○人事考課制度について ○新しい総合福祉センターの進捗状況について ○新型コロナウイルス特例貸付等の受付期間延長 ○ふれあい福祉相談の再開について ○就労講演会について ○ソーシャルワーク実習について ○危機管理委員会
第4回	7月5日 視聴覚室・Zoom	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい総合福祉センター検討の進捗 ○法人の障がい者雇用の方向性について ○テレワーク用貸出パソコン・貸出ポケットWi-Fi使用手順書及びマニュアルについて ○第6次調布市地域福祉活動計画・小地域交流事業について ○危機管理委員会
第5回	8月2日 視聴覚室・Zoom	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染状況と対応について ○福祉大会（法人化50周年記念式典）について ○福祉まつりについて ○危機管理委員会
第6回	9月6日 視聴覚室・Zoom	<ul style="list-style-type: none"> ○総合福祉センターの機能・設備に関する意見集約 ○令和4年度の職員研修について ○新型コロナウイルス特例貸付当の受付期間延長 ○小地域交流事業の進捗状況 ○第6次調布市地域福祉活動計画策定について ○危機管理委員会
第7回	10月4日 視聴覚室・Zoom	<ul style="list-style-type: none"> ○第34回調布市福祉大会（法人化50周年記念式典）について ○令和5年度予算要求について ○第三者委員会について ○危機管理委員会
第8回	11月8日 視聴覚室・Zoom	<ul style="list-style-type: none"> ○社協ジャンパーの作成について ○地域福祉コーディネーター養成研修について ○第6次調布市地域福祉活動計画策定について ○第45回調布市福祉まつり進捗状況 ○令和4年度ちょビット協力金への協力をお願い

		○人事考課制度導入の状況について ○危機管理委員会
第9回	12月6日 視聴覚室・Zoom	○第6次調布市地域福祉活動計画策定について ○第45回調布市福祉まつり報告 ○令和4年度上半期監査報告 ○人事考課制度について ○危機管理委員会
第10回	1月10日 視聴覚室・Zoom	○人事考課制度について ○部会・委員会の改選について ○令和5年度各種広報について ○第45回調布市福祉まつり報告 ○危機管理委員会
第11回	2月8日 視聴覚室・Zoom	○あんしん未来講演会について ○ひだまりサロン交流会について ○総合福祉センター移転に伴う調布駅前周辺機能について ○危機管理委員会
第12回	3月8日 視聴覚室・Zoom	○重層的支援体制整備事業本格稼働1年目について ○令和4年度決算監査にむけて ○令和5年度地域福祉推進課全体事業について ○危機管理委員会

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(11)	課内・係内会議				

結果の概要

○各課・各係において会議を開催した。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(12)	危機管理委員会				

結果の概要

○運営会議において、危機管理委員会を設置し、苦情、要望、事故報告、ヒヤリ・ハット報告により共有を図り、事故の未然防止とサービスの安全と質の向上を図った（第1部のP12参照）。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(13)	衛生委員会		市		

結果の概要

○衛生管理者、職員の代表者及び産業医が参画した衛生委員会を定期的に開催し、調布社協内各職場における安全・衛生について、協議、検討を行った。

- 法人全体のストレスチェック結果について、委員会で共有した。結果の活用方法については、今後もさらに検討を重ねることを確認した。
- 職場巡視を実施することで、各拠点の環境状況の把握、整備が進んだ。これまで実施をしていなかった総合福祉センター内の職場巡視は、総合福祉センター館内点検に衛生面の項目を追加し、実施することとなった。
- 産業医から最新の新型コロナウイルスの情報提供を得て、法人内の感染症予防対策へ生かした。感染症予防のため衛生委員会もオンライン会議形式で開催した。
- 新型コロナウイルス対応として、職員の時差出勤やテレワーク、休校に伴う休暇や年次有給休暇の活用、出勤前の検温、マスクの着用を実施した。施設としては、自動検温器、アクリル板、消毒用スプレーの設置や定期的換気を実施した。
- 健康相談の際に実施している健康体操について、総合福祉センターに勤務する職員を対象としてアンケートを実施した。アンケート実施後は、体操にテーマを設定し実施している。

実績等

回	開催日	会場	内 容
第1回	5月30日	総合福祉センター 2階 団体室	<ul style="list-style-type: none"> ○令和4年度衛生委員自己紹介 ○衛生委員会の位置づけの確認 ○令和4年度活動計画について ○令和4年度衛生委員会で取り組むべき課題について ○各職場の衛生課題について ○産業医からの情報提供
第2回	7月25日	総合福祉センター 2階 団体室	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルスの対応（現状確認） ○各職場の衛生課題について ○第1回職場巡視について ○職員健診の実施について ○保健師による健康相談について ○労働災害発生件数について
第3回	9月26日	総合福祉センター 2階 団体室	<ul style="list-style-type: none"> ○産業医からの情報提供 ○新型コロナウイルスの対応（現状確認） ○第1回職場巡視について ○各職場の衛生課題について ○職員健診の実施について ○保健師による健康相談・健康体操について ○労働災害発生件数について
第1回 職場巡視	Aチーム 10月13日 Bチーム 10月18日 Cチーム 10月19日	Aチーム 富士見コーナー、調布市希望の家、希望の家深大寺 Bチーム 調布市希望の家(分場)、緑ヶ丘コーナー、菊野台コーナー	<ul style="list-style-type: none"> ○職場環境の確認、救急用品・AED、嘔吐物対応キットの点検、コロナ対策確認等

		<p>Cチーム 西部コーナー、こころの健康支援センター、市民活動支援センター</p>	
第4回	11月21日	<p>総合福祉センター 2階 201会議室</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○産業医からの情報提供 ○新型コロナウイルスの対応（現状確認） ○第1回職場巡視報告 ○第2回職場巡視について ○総合福祉センターの職場巡視について ○ストレスチェックの法人全体結果の情報共有 ○職員健診の実施について ○保健師による健康相談・健康体操について ○労働災害発生件数について
第5回	1月19日	<p>総合福祉センター 2階 団体室</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルスの対応（現状確認） ○第2回職場巡視について ○第1回職場巡視及び総合福祉センター職場巡視報告 ○各職場の衛生課題について ○職員健診の実施について ○保健師による健康相談について ○労働災害発生件数について
第2回 職場巡視	1月20日～ 3月16日	<p>調布市希望の家 希望の家深大寺 市民活動支援センター 緑ヶ丘コーナー 菊野台コーナー 富士見コーナー 西部コーナー こころの健康支援センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各職場の自己チェックとして実施 ○職場環境の確認、救急用品・AED、嘔吐物対応キットの点検、コロナ対策確認等
第6回	3月17日	<p>総合福祉センター 2階 団体室</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○産業医からの情報提供 ○新型コロナウイルスの対応（現状確認） ○第2回職場巡視報告 ○各職場の衛生課題について ○ストレスチェック実施要綱について ○保健師による健康相談について ○労働災害発生件数について

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(14)	ストレスチェックの実施		市		

結果の概要

- 平成27年12月からストレスチェック制度が施行されたことに伴い、ストレスについての気づきの促し及び職場環境の改善のために、ストレスチェックを実施した。例年12月に実施をしていたが、8月に時期を変更して実施した。
- 令和4年4月1日在籍者で週20時間以上勤務する職員160人に対し、職業性ストレス簡易調査票を配付した。
- 結果の分析、集計及び報告については、ストレスチェック業務を取り扱う専門業者に外部委託した。
- 個人結果について回答者個別に報告書を配付するとともに、法人全体及び部署別（課ごと）の集団分析を行った。
- ストレスチェックの結果について、衛生委員会で法人全体結果を共有するとともに、「心理的な負担の程度を把握するための検査結果等報告書」を労働基準監督署に提出した。
- 社会福祉法人調布市社会福祉協議会ストレスチェック制度実施要綱を制定し、令和5年4月1日より施行する。

実績等

- 対象者数160人に対し調査票を配付した結果、126人から回答があった。
- 高ストレス判定が出た職員に対して実施事務従事者から産業医または保健師による面接指導を案内したが、職員からの申し出はなかった。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(15)	セクシュアル・ハラスメント苦情処理委員会				

結果の概要

- 令和4年度の開催はなかった。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(16)	個人情報保護・情報公開審査会				

結果の概要

- 令和4年度の開催はなかった。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(17)	税理士による経理の月例チェック		市		

結果の概要

- 月1回実施した。

○税理士の指摘事項については、会計職員で共有し改善に努めた。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(18)	社会保険労務士の指導		市		

結果の概要

○必要に応じて、指導を受けた。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(19)	人事考課（重点項目）	基			

結果の概要

- 令和3年度に引き続き試行実施として、正規職員を対象に「考課面談シート」の作成・提出、期初・期末面談、1次・2次考課、最終考課者会議及び結果のフィードバックを行った。
- 令和5年度からの本格実施に向けた職員説明会を実施し、人事考課制度に関する規程を整備した。
- 嘱託職員の自己申告制度に基づく「目標成果シート」「業務レベルチェック」の提出及び年に2回の面談を実施し、計画的な業務の遂行や明確な目的意識の醸成を図るとともに、正規職員への異動希望の聞き取りにより適材適所の配置に役立てた。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(20)	職員の資質向上（職員研修）（重点項目）	基	市	市東社	○

※財源は実施事業により異なる

結果の概要

<新任研修>

○社会福祉協議会職員としての基礎知識及び基本姿勢の習得を目的に、経験職を講師として、社会福祉協議会の理念や事業内容、職員の倫理、マナー等を行い、組織概要の理解と働くうえでの心がまえや地域資源の理解をすすめた。

<全体研修>

- 令和4年10月27日～31日の期間における静岡県静岡市清水区災害ボランティアセンターでの派遣活動についての報告会を行った。
- 第6次地域福祉活動計画の策定、推進、地域福祉の将来像に向けて、「事業を通して共生社会を考える」をテーマに事業を通して共生社会について考え、共有し、調布社協職員としての意識向上を目指す研修を行った。

<外部研修への参加>

- ポスト、勤務年数に応じた役割自覚と職務能力向上を目的に、全社協、東社協が行う階層別研修等に参加した。
- 担当事業の専門性を高めるため必要に応じて外部研修に年間を通じて参加した。

実績等

<新任研修>

対象	月 日	内 容	参加人数
4月採用 正規職員	4月1日 4月4日 4月5日	労務、服務、勤怠、PCの使用、組織理念、調布社協の歴史、働く姿勢、予算・会計、文書事務	6人
4月採用 嘱託職員	4月1日	労務、服務、勤怠、PCの使用	6人
4月採用 正規職員	7月4日 7月5日	事業概要、施設見学	6人
6月採用 嘱託職員	6月1日	労務、服務、勤怠、PCの使用	1人
8月採用 嘱託職員	8月1日	労務、服務、勤怠、PCの使用	1人
10月採用 嘱託職員	10月3日	労務、服務、勤怠、PCの使用	1人
11月採用 嘱託職員	11月1日	労務、服務、勤怠、PCの使用	1人
12月採用 臨時職員	12月2日	労務、服務	1人

<全体研修>

研修名	月 日	講 師	内 容	参加人数
「台風15号における静岡市清水区災害ボランティアセンター派遣」報告会	12月27日	深町奈央主事	令和4年10月27日～31日の期間における静岡県静岡市清水区災害ボランティアセンターでの派遣活動についての報告	36人
正規職員研修	2月2日 2月7日	東京都立大学人文社会学部 准教授 室田信一氏	第6次地域福祉活動計画の策定、推進、地域福祉の将来像に向けて、「事業を通して共生社会を考える」をテーマに事業を通して共生社会について考え、共有する。	67人

<外部研修への参加>

研修名	月 日	主催	参加者
新任事務局長研修	4月11日 4月下旬～ 5月下旬	東京都社会福祉協議会	課長1人

区市町村社協職員 新任職員研修	5月23日～ 7月上旬	東京都社会福祉協議会	主事8人
管理職員研修	5月30日 5月31日 6月16日 6月17日	東京都福祉人材センター	課長2人 課長補佐2人
地域福祉コーディネーター養成研修 ＜基礎編＞	6月6日～ 6月24日	東京都社会福祉協議会	主任3人 主事9人
関東ブロック郡市区町村社協職員合 同研究協議会	7月7日～ 7月8日	千葉社協職員連絡協議会 千葉県社会福祉協議会 関東ブロック社協職員の会連 絡会	主任1人
ファンドレイジング研修	7月13日～ 8月24日	東京都福祉人材センター	主任1人
福祉職員初任者研修（マナー編） （講義編）	7月15日 7月29日	調布市福祉人材育成センター	主事3人 主事5人
福祉職員中堅研修（講義編） （SST編）	7月22日 8月3日	調布市福祉人材育成センター	主事1人 主事2人
労働基準法等に関する研修	7月25日	東京都福祉人材センター	主任1人
社会福祉事業従事者人権研修【I】	8月9日	東京都福祉保健局	主事1人
リスクマネジメント研修	8月26日～ 10月11日	東京都福祉人材センター	係長2人 主任2人 主事1人
カスタマーハラスメント研修	8月26日～ 10月11日	東京都福祉人材センター	課長2人 課長補佐1人 係長1人
会計実務講座（入門コース）	9月6日～ 9月8日	全国社会福祉協議会	主任2人
区内区市町村社協基礎研修	10月3日 11月8日 12月6日	東京都社会福祉協議会	主任2人 主事4人
会計実務講座（上級コース） 通信課程	11月26日～ 11月28日	全国社会福祉協議会	課長1人
区市町村社協 運営管理研修「改正 個人情報保護法への対応について」	11月29日	東京都社会福祉協議会	課長補佐2人 係長4人
スタートアップ研修	12月1日～ 1月16日	東京都福祉人材センター	嘱託職員1人
部下・後輩を育てるコーチング	12月1日～ 1月16日	東京都福祉人材センター	係長2人 主任1人
社会福祉法人会計入門研修	12月1日～ 1月16日	東京都福祉人材センター	係長1人 主任1人
ファシリテーション研修	1月16日～ 2月28日	東京都福祉人材センター	主任5人

苦情解決担当者研修	1月16日～ 2月28日	東京都福祉人材センター	係長2人 主任1人
チームリーダー研修	2月16日 2月17日	東京都福祉人材センター	係長1人 主任1人
東京都相談支援従事者現任研修	6月15日～ 8月9日	東京都	課長1人 主任1人
東京都サービス管理責任者研修及 び児童発達支援管理責任者研修	8月1日～ 8月19日	東京都	主事1人
東京都相談支援従事者初任者研修	9月13日～ 1月19日	東京都	課長補佐1人 主事2人
「やさしい日本語」研修	2月1日	調布市文化生涯学習課	係長1人
その他担当事業別研修参加	随時	全社協、東社協ほか 民間も含め各所	

分析・課題

- 新任職員研修は、各施設の見学会を定例化し、各事業へ理解を深めた。
- 令和4年度も福祉人材育成センターと連携し、研修に参加することで職員の意識だけでなく業務の質を高めた。
- 外部研修については新型コロナウイルス感染症予防のため、オンラインでの参加が中心となった。研修先への移動時間が無くなり、さらにテレワークでの受講も実施が可能となったため、効率的な受講につながった。内部研修については、スーパーバイザーを交えた研修や採用後1・2年目の職員を対象としたフォローアップ研修、階層別研修の実施は令和5年度への課題としたい。
- より良いサービス、支援の提供ができるように職員個々の資質の向上、組織力の強化及び必要な資格の取得ができるように、日常業務との兼ね合いを図りながら、今後も限られた研修費のなかで、効率的な研修の実施及び参加を進めたい。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(21)	職員健康相談		市		

結果の概要

- 定期的、継続的な相談や体操により職員の心身の健康状態の変化に気づく機会となった。
- 衛生委員会から健康体操について、総合福祉センターに勤務する職員を対象にアンケートを実施した。アンケート実施後は、体操にテーマを設定し実施している。

分析・課題

- メンタル疾患者の増加、ストレスチェックの義務化に伴い、社協組織においてメンタルヘルス対策は大きな課題となっている。そのため、産業医や健康相談員の存在も大きく、職員が安心して相談できる体制を維持・強化する必要がある。

2 部会・委員会

番号	事業名	財源			
		自主 基	補助	委託	事業
(1)	総務部会				

結果の概要

- 令和4年度より年3回の開催とした。
- ちょビット協力金を中心に、その他の募金活動や寄附金、募金箱、収益事業等、自主財源の確保について議論を重ねた。
- ちょビット協力金について、一人でも多くの市民にわかりやすく伝えるため、広報の方法等を検討した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	5月26日 団体室	○正副委員長の選出 ○総務部会について ○令和3年度自主財源報告 ○令和3年度ちょビット協力金実績報告 ○令和4年度社会福祉協議会ちょビット協力金（会員）募集について
第2回	11月24日 視聴覚室	○自主財源の現況報告 ○令和4年度ちょビット協力金の現況報告 ○赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金の周知について ○第45回調布市福祉まつりについて
第3回	3月1日 団体室	○自主財源の現況報告 ○令和4年度ちょビット協力金の現況報告 ○令和5年度に向けたちょビット協力金の周知について

分析・課題

- 新型コロナウイルスの影響もあり、募金等の実績は厳しい状況ではあるが、地域福祉活動の推進や制度の狭間の地域生活課題に対応していくためにも、今後更に自主財源の確保を進めていく必要がある。協力金や募金等の使いみちについて丁寧でわかりやすい情報発信に努めるとともに、新たな資金調達の方法についても検討していく。

番号	事業名	財源			
		自主 基	補助	委託	事業
(2)	広報部会				

結果の概要

- 新型コロナウイルスの影響により、当初計画（6回）より少ない5回の開催となった。
- 第3回広報部会では、ふくしの窓1面のロゴを、50周年記念のものから新たなデザインに変更することを決定し、11月号より変更した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	5月31日 団体室	○ふくしの窓5月10日号確認 ○ふくしの窓7月号2校確認 ○その他広報活動について
第3回	9月30日 団体室	○ふくしの窓9月10日号確認 ○ふくしの窓11月号2校確認 ○その他広報活動について
第4回	11月28日 視聴覚室	○ふくしの窓11月10日号振り返り ○ふくしの窓1月号2校確認 ○その他広報活動について
第5回	1月27日 団体室	○ふくしの窓1月10日号振り返り ○ふくしの窓3月号2校確認 ○その他広報活動について
第6回	3月30日 団体室	○ふくしの窓3月10日号振り返り ○ふくしの窓5月号2校確認 ○広報活動の取組について

分析・課題

- ふくしの窓については、引き続きカラー構成や写真の効果的な見せ方など、市民の方が手に取った際に、見やすくわかりやすい紙面になるようさらに工夫していく必要がある。
- 社協や事業をPRしていくため、YouTubeでの動画配信など、様々な媒体を利用した情報発信の方法についても検討していく。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)	調布市希望の家及び希望の家深大寺運営委員会			市	

結果の概要

- 年3回の実施計画とおり、7月と11月と2月の3回実施した。
 - 利用者主体の施設運営に、市民の声を反映することができた。
- 第3部のP8、P17参照

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(4)	市民活動支援センター運営委員会			市	

結果の概要

- コロナ禍において、オンラインと会場のハイブリット形式で開催した。
 - 市民主体の開かれた運営を基本とし、さらなる充実を目指した。
- 第2部のP2参照

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(5)	調布市こころの健康支援センター運営委員会			市	

結果の概要

- コロナ禍において、オンラインと会場のハイブリット形式で開催した。
 - 市民主体の開かれた運営を基本とし、さらなる充実を目指した。
- 第4部のP30参照

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(6)	共同募金調布地区配分推薦委員会	他			

結果の概要

- 地域における共同募金の配分について、地域の福祉ニーズを反映させることを目的として、東京都共同募金会の配分委員会に対する意見具申を行った。令和4年度は16団体の推薦を行い、合わせて申請受付や推薦の基準についても話し合った。

実績等

回	開催日	会場	内 容
第1回	6月27日	視聴覚室	<ul style="list-style-type: none"> ○令和3年度地域配分(B配分)申請・配分団体について ○令和4年度配分可能総額について ○令和4年度地域配分(B配分)募集要領及び申請書類について ○令和4年度地域配分(B配分)確認事項について ○令和4年度地域配分(B配分)広報活動について ○令和4年度配分推薦委員会の予定
第2回	11月14日	視聴覚室	<ul style="list-style-type: none"> ○広報活動報告 ○令和4年度配分可能額及び申請件数、調布地区配分ルールの確認 ○審査方法説明 ○申請内容確認 ○今後の配分推薦委員会の予定
第3回	1月23日	視聴覚室	<ul style="list-style-type: none"> ○資料及び審査方法確認 ○地域配分申請事業審査 ○歳末たすけあい配分計画について ○令和5年度配分推薦金額の上限について

分析・課題

- 受配団体にも街頭募金の実施協力や募金箱の設置など共同募金運動にも協力してもらえるよう、引き続き働きかけを行っていく。
- 新型コロナウイルスの影響を受け、募金額が減少し助成決定額も減少したため、宿泊訓練・日帰り研

修事業の助成については、事業に応じた一定額を配分した。

○令和4年度に続き、新型コロナウイルスの影響を受け、宿泊や日帰りの訓練事業を実施することが困難であった施設については、やむなく事業変更を行い実施した。令和5年度は当初の申請した事業が滞りなく遂行されるよう、申請段階で団体にも周知、確認をしながら事業を実施していく必要がある。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(7)	あんしん未来支援事業審査会		市		

結果の概要

○事業を適正、かつ円滑に実施するため、事業の実施状況について必要な報告をするほか、当該実施状況に関して審査を行った。

第1部のP139参照

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(8)	調布市福祉人材育成センター運営委員会			市	

結果の概要

○状況により集合形式とオンラインでの会議を実施しながら、事業の適切な運営、実施について協議した。

第1部のP151参照

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(9)	子ども・若者総合支援事業運営委員会			市	

結果の概要

○運営委員会（学識経験者、教育・福祉関係者等）を4回開催した。事業の進捗状況を報告し、委員の方より意見及び助言をいただいた。

第1部のP126参照

3 財政基盤

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	会費の拡大【重点項目】	会			

結果の概要

○自治会、民生児童委員、個人、団体等のご協力により、5,678,953円の会費及び協力金をいただき、ひだまりサロン事業等、以下の事業に活用した。

○令和3年度から「ちょビット協力金」という愛称をつけたが、自治会等地域の中でも“社協の協力金”と、その名が少しずつ浸透してきている。

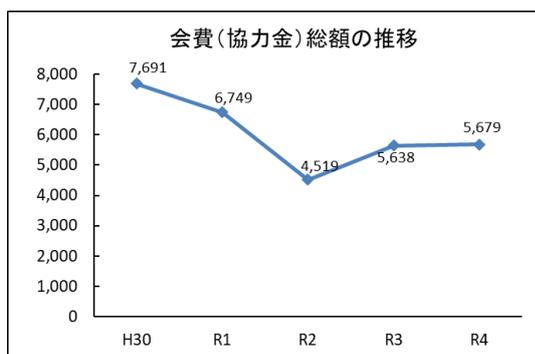
- 新型コロナウイルスの影響もあったが、自治会、婦人会取りまとめ分については、令和3年度に比べ14件増加し、金額についても189,513円増加した。
- 例年どおりふくしの窓7月号に特集記事を掲載し払込取扱票を添付した結果、令和3年度に比べ件数は18件減少したが、金額は163,095円増加した。
- オンライン決済フォームから43件、125,233円の納入があった。令和3年度に比べて件数は1件、金額は23,559円増加した。
- 会員募集運動に協力いただいた自治会、婦人会が取りまとめた会費実績の9%を、申請に基づき地域福祉活動費として交付した。

No.	事業名	No.	事業名
1	会員管理	4	小地域交流事業
2	地域福祉活動計画	5	ボランティア活動推進
3	ひだまりサロン		

実績等

会員種別	会員数 (人・団体)	会費額(円)
賛助会員(個人)	3,982	3,237,081
賛助会員(団体)	196	1,898,282
協力会員(個人)	1,932	438,990
協力会員(団体)	77	104,600
会費合計	6,187	5,678,953

取り扱い別	件数 (件)	会費額 (円)
自治会・婦人会扱	179	3,779,832
民生児童委員扱	73	118,500
法人・団体	69	742,000
老人クラブ	8	41,168
個人	268	785,290
社協役職員扱	116	212,163
合計	713	5,678,953



年度	会費(協力金)総額
平成30年度	7,690,913円
令和元年度	6,748,788円
令和2年度	4,518,595円
令和3年度	5,638,483円
令和4年度	5,678,953円

分析・課題

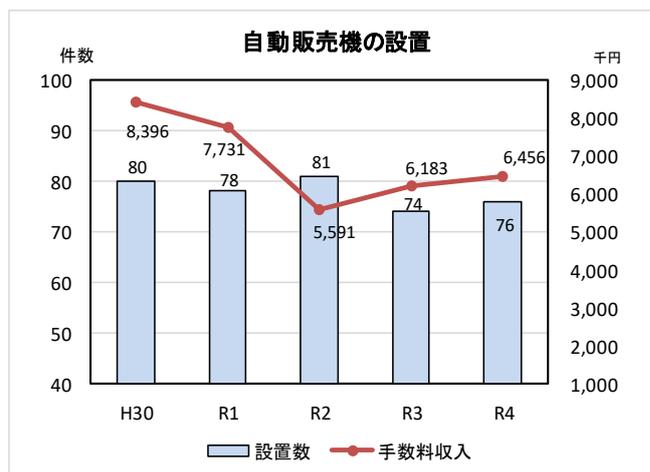
- 引き続き新型コロナウイルスの影響はあったが、自治会等の協力が少しずつ回復してきたことにより、令和3年度より件数、募金額ともに実績が上がった。
- 微増ではあるが、令和3年度よりオンライン受付の件数、金額ともに増加した。曜日や時間帯を問わず、インターネット上で完結する手軽さがあるため、今後もSNS、ホームページ、各種広報誌等に2次元コードを掲載するなど、更なる周知を図っていく。
- ふくしの窓7月号に貼付した払込用紙による協力が年間を通じてあった。主に個人の方からの協力に使用されているため、今後も一人でも多くの方に協力いただけるよう、わかりやすい紙面とともに協力を呼び掛けていく必要がある。
- ちょビット協力金の愛称は浸透してきているが、更に理解を深め、協力者を増やしていくため、動画

等を活用しわかりやすく事業を紹介するなど、広報の工夫が必要である。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)	収益事業	収			

結果の概要

- 地域福祉推進の財源を確保するため、市内の公共施設等に自動販売機を設置、運営した。
- 新型コロナウイルスの影響が緩和されてきたことにより、実績が緩やかに回復してきている。
- 総合福祉センター内の自動販売機については、ボランティア団体の協力を得て、販売商品を説明する点字をつけ、視覚障がいの方が購入しやすいように工夫している。
- 令和5年3月に開設された東京都パラスポーツセンターに自動販売機2台を新規に設置した。設置先の要望もあり、アイスクリームの自動販売機を調布社協として初めて1台設置した。



実績等

自動販売機設置場所	台数	自動販売機設置場所	台数
調布市役所	2台	調布市シルバー人材センター	1台
調布市グリーンホール	3台	国領駅前ココスクエア駐車場	6台
関東村跡地	7台	調布福祉作業所	1台
緑ヶ丘テニスコート	1台	西調布体育館	1台
深大寺テニスコート	1台	西町公園	1台
多摩川テニスコート	2台	調布市こころの健康支援センター	2台
西町少年野球場	1台	つつじヶ丘児童館	1台
調布市希望の家	1台	西部地域福祉センター	1台
調布市西部公民館	1台	入間地域福祉センター	1台
調布市北部公民館	1台	調布ヶ丘地域福祉センター	1台
調布市教育会館	1台	深大寺地域福祉センター	1台
調布駅北口入口横	3台	染地地域福祉センター	2台
大町スポーツ施設	1台	菊野台地域福祉センター	1台
飛田給駅北自転車駐車場	1台	布多公園	1台
調布中前児童遊園	2台	下石原地域福祉センター	1台
調布市総合福祉センター	7台	金子地域福祉センター	1台
郷土博物館	1台	多摩川五丁目児童遊園	1台
郷土博物館分室	2台	小島町倉庫	1台
八雲台ふれあいの家	2台	下布田公園	1台
調布市文化会館たづくり	2台	調布市調布西第3自転車駐車場	2台

調布市議会事務局	1台	東京都パラスポーツトレーニングセンター（新規）	2台
多摩川緑地公園	3台	合計	76台

分析・課題

- 新型コロナウイルスの影響も徐々に緩和され、売上げも回復傾向にある。
- 状況、ニーズに応じて、設置する機器を検討しながら増設を目指す。
- 販売数を多く見込める設置場所を開拓し、自主財源の確保に努めていきたい。
- 自販機の設置、自販機による清涼飲料水を購入いただくため、周知をしていく必要がある。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)	広告料収入				○

結果の概要

- 「ふくしの窓」への広告掲載として、1回の発行につき最大9コマ・年間6回の広告掲載スペースを確保し、市内企業等に1コマ20,000円の広告を掲載していただいた。

実績等

- 企業・団体から計36コマに広告掲載の申込をいただき、720,000円の収入があった。

分析・課題

- 令和3年度に比べると掲載数は微減したが、新規広告企業の掲載もあった。引き続き市内企業や地域の商店街等に社協PRもこめて、地域貢献の一環として広告掲載について積極的に依頼していく。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(4)	研修生受け入れ収入	他			

結果の概要

- 将来、福祉職や看護職、教職を目指す人材の支援・育成を目的に受け入れを行っている。
- 新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、予定していた実習の一部について中止したほか、一部はオンラインでの講義等により実施した。

実績等

	学校・企業数	収入
大学・短大・専門学校	15校	1,079,675円
合計	15校	1,079,675円

※学校・人数については、研修生受入収入が発生するもののみカウントしている。

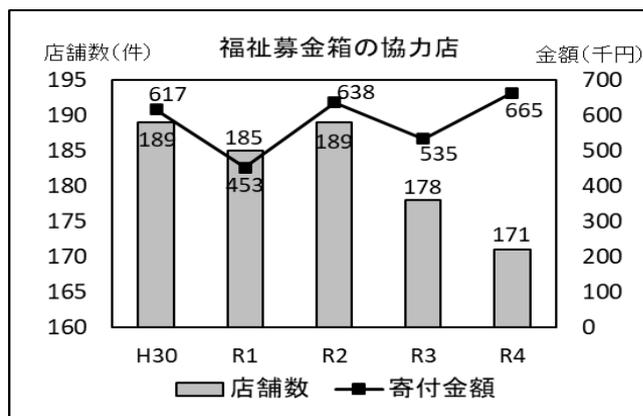
番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(5)	募金箱の設置	寄			

結果の概要

○令和3年度に比べ、寄付金額は129,739円増額となった。

実績等

福祉募金箱設置協力店数	171店
寄付金額	665,178円



分析・課題

- 協力店の閉店もあったが、再開や集客増もあり増額が考えられる。
- 社協の宣伝も踏まえ、募金箱設置店にふくしの窓や社協のしおり等の広報物、会員募集のリーフレットの配架を依頼する等、積極的な普及活動を行っていく。
- 地域福祉コーディネーター及び地域支え合い推進員をはじめ、募金箱設置店のある地域を活動領域とする他の事業担当者と連携し、定期的な設置店の訪問により深い地域とのつながりづくりを図る。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(6)	寄付金収入	寄			

※決算額は福祉募金箱を含む寄付金収入の額

結果の概要

○市民、市内団体をはじめ多くの方から、福祉への思いを寄付という形でお寄せいただいた。

実績等

<寄付金額（福祉募金箱、福祉まつり募金箱含）>

件数	寄付金額
寄付金 328件	8,012,296円

分析・課題

- 遺贈寄付、香典返しの際の寄付等に関する問い合わせがコンスタントにある。寄付先として選択してもらえるよう積極的に周知を図りたい。
- 自治会の解散に伴う寄付が増えている。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(7)	障害者総合支援法に基づく事業所収入				○

結果の概要

○障害者総合支援法の指定事業所として、指定相談支援事業、同行援護事業を行った。

実績等

事業名	令和4年度収入
指定相談支援事業	4,521,122円
障害児相談支援事業	70,238円
指定相談支援事業（こころ）	15,575,084円
障害児相談支援事業（こころ）	0円
同行援護事業	14,718,992円
生活介護事業所（希望の家深大寺）	67,494,479円
合計	102,379,915円

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(8)	赤い羽根共同募金会からの収入				
(9)	歳末たすけあい運動からの収入	共歳			

結果の概要

○社会福祉法人調布市社会福祉協議会として東京都共同募金会へ地域配分（B配分）を申請し、1,110,000円の配分を受けた。また、令和3年度に歳末たすけあい運動で寄せられた募金（4,941,784円）を地域福祉活動費として、東京都共同募金会から收受し、ひだまりサロン事業や見守りあんしん訪問などに活用した。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(10)	補助金収入				
(11)	受託金収入		○	○	

結果の概要

○調布市からの補助金並びに東京都社会福祉協議会及び調布市からの委託金を次の事業実施のため収入した。

①調布市補助金

No.	事業名	No.	事業名
1	法人運営費	12	手話通訳者派遣（斡旋通訳含む）
2	ひだまりサロン	13	中途失聴・難聴者のための手話講習会
3	高齢者会食サービス	14	ファシリテーター養成講座
4	高齢者訪問理美容サービス	15	福祉団体助成金
5	電話訪問	16	福祉サービス利用援助
6	友愛訪問	17	ボランティア活動推進
7	福祉機器貸出	18	希望の家深大寺
8	健康支援金の支給	19	調布市障害者日中活動系サービス推進事業
9	あんしん未来支援事業	20	福祉人材育成事業
10	手話講習会	21	新型コロナウイルス感染拡大防止対策推進事業

11	手話通訳者派遣	22	調布市障害福祉サービス事業所物価高騰対策支援事業
----	---------	----	--------------------------

②調布市受託金

No.	事業名	No.	事業名
1	通所介護及び介護予防通所介護	14	調布市希望の家
2	介護予防・生活支援サービス事業	15	市民活動支援センター
3	ふれあい給食	16	調布市こころの健康支援センター
4	老人クラブ育成	17	障害者就労支援事業
5	障害者相談支援	18	子ども・若者総合支援事業
6	障害者地域活動支援センター	19	生活困窮者自立支援事業
7	在宅障害者（児）緊急一時保護	20	生活困窮者家計改善支援事業
8	地域福祉活動支援事業	21	高齢者家事援助ヘルパー養成研修
9	高次脳機能障害相談支援事業	22	福祉人材育成センター
10	受験生チャレンジ貸付	23	生活支援コーディネーター
11	放課後等デイサービス事業	24	発達障害者支援
12	障害者等雇用	25	地域福祉コーディネーター
13	調布市総合福祉センター運営		

③東京都社会福祉協議会補助金

No.	事業名
1	地域密着相談面接会感染拡大防止対策助成

④東京都社会福祉協議会受託金

No.	事業名
1	生活福祉資金貸付（特例貸付含む）
2	地域福祉権利擁護事業
3	臨時特例つなぎ資金
4	ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付

実績等

○令和4年度の補助金及び受託金は、以下のとおりである。

区 分	金 額
調布市補助金	335,287,701円
調布市受託金	719,234,771円
東京都社会福祉協議会補助金	50,000円
東京都社会福祉協議会受託金	28,592,676円
合 計	1,083,165,148円

4 啓発・普及・宣伝事業

(1) 啓発事業

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)①	調布市福祉大会	会寄基			

結果の概要

- 第34回調布市福祉大会、令和3年度に延期となった法人化50周年記念式典を同時開催し、永年にわたって地域福祉活動やボランティア活動に参加・協力いただいた市民、団体並びに福祉事業に対する高額寄付者を顕彰した。
- 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、検温の実施、消毒の徹底、席の指定と間隔の確保等の対策を実施した。また、密を避けるため一般招待は行わなかった。
- 滞在時間の短縮のため、アトラクションは実施せず、式典のみ開催した。
- 法人化50周年記念式典の企画として、事務局長が50年の歴史を振り返る経過報告を行った。
- ひだまりサロンの活動で受賞した飛田給ひまわりの会が、活動発表を行った。
- 受賞者及び参加者へ法人化50周年記念誌と、記念品として市内の福祉作業所の手作り品を配布した。

実績等

開催日時	令和4年10月5日(水)
会場	調布市グリーンホール 大ホール
参加者	176人
内容	<式典> 表彰・感謝状対象者：社協 285人 共同募金 15人 50周年経過報告：事務局長 活動発表：飛田給ひまわりの会 井出和重氏

分析・課題

- 従来使用していたくすのきホールから大ホールへ会場変更となったことから、会場、受付配置方法の新たな検討を行い、対応をすることができた。一方で、式典当日は雨天であったため、受賞者案内の職員配置等への安全対策については、事前の検討が求められる。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)②	調布市福祉まつり				○

結果の概要

<実施期間>

令和4年12月3日(土)から令和5年1月27日(金)

(会場開催：令和4年12月3日(土)・4日(日)午前10時00分～午後2時30分)

<調布市福祉まつり実行委員会が運営>

第45回調布市福祉まつりの実施に向けて、参加団体から実行委員15名(1事業所2名含む)を募り、実行委員会を6月に立ち上げた。新型コロナウイルスの影響を鑑みながら、コロナ禍

でも実施可能な福祉まつりの企画内容を検討した。

検討の結果、市民の安心と安全を第一に考え、当日会場で、手作り品やテイクアウト商品などの「販売」と「相談コーナー」、「ぬりえの展示コーナー」を実施。あわせて街頭募金を実施することとなった。感染症予防の観点から、バザーと模擬店は中止とした。

また、令和3年度に続き「オンラインでの参加団体 PR 動画配信」「福祉まつり募金、協力金の募集」「カフェ&ショッピングめぐり」の3つの企画を実施することに決定した。

実行委員長 中村 悦子（調布市社会福祉協議会理事）

副実行委員長 愛沢 法子（調布市視覚障害者福祉協会）

高橋 勝彦（調布・狛江 桜友会）

実行委員会開催回数 5回（うち1回は令和5年1月に開催の反省会）

※その他、企画毎の担当グループに分かれて随時打合せを実施した。

<当日会場での実施内容>

●駅前広場

（1）会場での販売

会場内のテントで、手作り品やテイクアウト商品などの販売を行った。

（2）相談コーナー

駅前広場会場内のテントにて専門職による相談を実施した。込み入った相談になる場合は、グリーンホール小ホール内に設置した個別相談ブースに案内し行った。

（3）街頭募金の実施

福祉団体への配分金をより多く確保することを目的とし、当日会場において街頭募金を実施した。

（4）その他

- ・トヨタモビリティ東京株式会社のご協力により福祉車両を展示した。（両日）
- ・ボランティアによるバルーンアートを行った。（土曜のみ）
- ・調布市の各部署によるPRブースを出展した。
高齢者支援室による見守りネットワークPR、市民課によるマイナンバーカードPR、障害福祉課パラハート[障がいのある方のアート活動]PR（日曜のみ）
- ・調布市社会福祉協議会によるPRブース出展した。（日曜のみ）
- ・愛沢副実行委員長による盲導犬ふれあいコーナーを実施した。（日曜のみ）

●グリーンホール小ホール

（1）ぬりえの展示コーナー

事前チラシやふくしの窓に掲載したサニーくんのぬりえを塗っていただき、グリーンホール小ホールのブースに持参した方に、景品をプレゼントした。（日曜日はさるすべりシニア調布の方に作成いただいた昔のおもちゃを景品として配布した。）

<その他実施内容>

（1）オンラインでの動画配信

令和3年度同様、例年通りの福祉体験コーナーやステージ発表での福祉啓発ができない代わりに、参加団体の活動PR動画を作成し、社協Youtubeチャンネルで配信。対面とならない形で福祉啓発を行った。

（2）協力金の募集、募金箱の設置

福祉まつりの目的の一つである福祉団体の活動資金確保のため、参加団体へ協力金を募った。さらに、参加団体はじめ協力を申し出てくださった店舗等へ募金箱を設置した。

（3）カフェ&ショッピングめぐり

より多くの市民に市内にある福祉関連の施設及び店舗を知ってもらうこと、福祉まつりに参加する団体同士が、お互いの活動を知り、交流する機会をつくることを目的に実施した。

（4）広報活動

- ① 第45回調布市福祉まつりの広報ポスター、チラシを作成
各自治会や公共施設、駅、児童関係施設（保育園、小中学校、特別支援学校）、福祉施設等に配布、掲示を依頼した。
- ② 調布市障害福祉課作成のパラハートちょうふのチラシに『カフェ&ショップめぐり』企画のガイドマップを掲載。令和4年12月3日（土）から市民に向けて配布した。
- ③ 当日用プログラムを作成し、会場内で配布した。
- ④ メディア・HP等での発信
調布FMや、調布市のオンライン広報（Youtube）に担当職員や実行委員が出演し、今回の福祉まつり開催にあたっての情報発信を行った。また、社会福祉協議会HPで開催情報等の周知を図った。
- ⑤ 広報誌への情報掲載
市報、ふくしの窓（社協広報誌）に今回の福祉まつりの内容等を掲載した。

実績等

○参加団体数

参加形態	参加団体数
会場出店	49 団体
協力金	25 団体
募金箱設置	30 団体
参加団体PR動画	39 団体
合計	延べ 143 団体 ※実数 78 団体

○内容

<当日会場での実施>

●駅前広場

(1) 会場での販売

内容	
	令和4年12月3日（土）・4日（日）調布駅前広場、会場内のテントにて、手作り品やテイクアウト商品などの販売。
参加団体一覧	<p>【12月3日（土）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ NPO 法人クッキングハウス会 ・ NPO 法人高次脳機能障がい者活動センター 調布ドリーム ・ NPO 法人爽々苑 爽々苑、爽々苑やわらぎの家 ・ NPO 法人調布心身障害児・者親の会 ぴいす ・ NPO 法人ひなげしの会 ポピーの家 ・ NPO 法人ふみ月の会 ・ NPO 法人リフレッシュ工房 ・ NPO 法人わかばの会 ・ 社会福祉法人新の会はあと・ふる・えりあ ・ 社会福祉法人大泉旭出学園 調布福祉園 ・ 社会福祉法人新樹会 創造農園 ・ 社会福祉法人調布市社会福祉事業団 調布市知的障害者援護施設すまいる ・ 社会福祉法人調布を耕す会(カフェ大好き、しごと場大好き) ・ 就労継続支援B型事業所 ファーストステップ ・ 調布市希望の家 ・ 調布市赤十字奉仕団

	<ul style="list-style-type: none"> ・特定医療法人研精会 東京さつきホスピタルデイケア ・フリーフライト <p>【12月4日（日）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人エクセルシア リサイクルショップ不思議屋 ・NPO法人調布心身障害児・者親の会 ・NPO法人調布ハンディキャブ ・NPO法人羽ばたく会 めじろ作業所 ・公益社団法人調布市シルバー人材センター ・中央大学 調布白門会（中央大学学員会調布支部） ・調布・狛江地区更生保護女性会 ・調布市視覚障害者福祉協会 ・虹の会 ・フラワーセラピー花想
--	--

(2) 相談コーナー

内容	令和4年12月3日（土）・4日（日）調布駅前広場のテントにて専門職による相談を実施した。
参加団体一覧	<p>【12月3日（土）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療法人社団桐光会フロリアル調布 ・公益財団法人調布ゆうあい福祉公社 ・CCD（調布市障害者協議会） ・ソウギSOS ・東京司法書士会調布支部 ・東京都行政書士会調布支部 ・東京都社会保険労務士会武蔵野統括支部 <p>【12月4日（日）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人東京都医療ソーシャルワーカー協会（第7ブロック） ・NPO法人あんしんシニアサポート ・調布市人権擁護委員 ・りんりんの会

(3) 街頭募金

内容	福祉団体への配分金をより多く確保することを目的とし、当日会場において街頭募金を実施した。
街頭募金額	93,716円

●グリーンホール小ホール

(1) むりえ

内容	事前チラシやふくしの窓に掲載したサニーくんのむりえを塗っていただき、グリーンホール小ホールのブースに持参した方に、景品をプレゼントした。（日曜日はさるすべりシニア調布の方に作成いただいた昔のおもちゃを景品として配布した。）
参加数	2日間合計 502 枚（チラシ 450 枚・ふくしの窓 52 枚）

<その他実施内容>

(1) オンラインでの動画配信

<p>内容</p>	<p>令和4年12月7日から福祉まつり参加団体の活動目的や内容を知ってもらい、調布の福祉、福祉施設・団体を応援してもらうための紹介動画を4つに分けて配信。全39団体が参加した。</p>
<p>団体 PR 動画 参加団体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般社団法人多摩南部成年後見センター ・ 一般社団法人東京都医療ソーシャルワーカー協会(第7ブロック) ・ 一般社団法人ぬくもり society ・ NPO 法人高次脳機能障がい者活動センター 調布ドリーム家族会 ・ NPO 法人爽々苑 爽々苑 ・ NPO 法人調布心身障害児・者親の会 ・ NPO 法人調布心身障害児・者親の会 ぴいす ・ NPO 法人羽ばたく会 めじろ作業所 ・ NPO 法人ふみ月の会 ・ NPO 法人ポコポコ・ホッピング ポコポコ・ホッピング神代団地 ・ 介護老人保健施設フロリアル調布 ・ さるすべり ・ CCD (調布市障害者協議会) ・ 至誠ホーム調布若葉ケアセンター ・ 社会福祉法人新の会はあと・ふる・えりあ ・ 社会福祉法人大泉旭出学園 調布福祉園 ・ 社会福祉法人新樹会 創造農園 ・ 社会福祉法人調布市社会福祉協議会 ・ 社会福祉法人調布市社会福祉事業団 調布市知的障害者援護施設すまいる ・ 社会福祉法人調布を耕す会(カフェ大好き・しごと場大好き) ・ 就労継続支援B型事業所 ファーストステップ ・ ソウギSOS ・ ちょうふ花園(地域包括支援センター) ・ 調布市希望の家 ・ 調布市身体障害者福祉協会 ・ 調布市聴覚障害者協会 ・ 調布市ちょうふの里 高齢者在宅サービスセンター ・ 調布市立図書館 ・ ちょうふタバコ対策ネットワーク ・ 調布ゆうあい福祉公社住民参加推進係 ・ DEMAE 調布 ・ 東京税理士会武蔵府中支部 ・ 東京調布ライオンズクラブ ・ 東京都行政書士会調布支部 ・ 虹の会 ・ フラワーセラピー花想 ・ フリーフライト ・ ポコポコ・ホッピング富士見町 ・ りんりんの会

(1) 協力金の募集、募金箱の設置

① 協力金

<p>内容</p>	<p>令和4年12月3日～令和5年1月6日の福祉まつり開催期間中に、総合福祉センター1階へ協力金をご持参いただいた。</p>
-----------	--

<p>参加団体一覧</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般社団法人生活支援ネットアーリーバード ・ 一般社団法人ぬくもり society ・ NPO 法人高次脳機能障がい者活動センター 調布ドリーム家族会 ・ 公益社団法人調布市シルバー人材センター ・ 国際ソロプチミスト東京-調布 ・ 国際ソロプチミスト東京-調布ローレル ・ さるすべり ・ ソウギ SOS ・ 調布明るい社会づくりの会 ・ 調布管工土木事業協同組合 ・ 調布・狛江 桜友会 ・ 調布市遺族厚生会 ・ 調布市建設業協同組合 ・ 調布市茶道連盟 ・ 調布市自治会連合協議会 ・ 調布市民生児童委員協議会 ・ 調布保護司会 ・ 調布 WAT ・ 東海大学同窓会 三多摩支部会 ・ 東海大学同窓会 三多摩支部会 有志一同 ・ 東京調布むらさきロータリークラブ ・ 東京調布ライオンズクラブ ・ 墨悠会 ・ 明治大学校友会 調布・狛江地域支部 ・ 早稲田大学校友会 調布稲門会
---------------	--

② 募金箱の設置

<p>内容</p>	<p>例年福祉まつりに協賛していただいている企業やカフェ&ショップめぐり参加団体、地域福祉コーディネーターが関わりのある団体等に募金箱設置を依頼し、福祉まつり開催期間中に募金箱を設置した。</p>
<p>設置団体一覧</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療法人社団梶社会西田医院 ・ 鵜戸西クリニック ・ NPO 法人ちょうふの風 ・ 音楽教室と喫茶 箱 ・ カフェギャラリー さえずり ・ カフェ大好き ・ かれーや ・ Gallery&Café Pedalo ・ CRAZY PIZZA ・ しごと場大好き ・ 空と大地と ・ 茶屋侘助 ・ 調布市茶道連盟 ・ ティールーム・クッキングハウス ・ にこにこキッズルーム ・ ふあんふあ〜れ ・ ふくふく ・ フレッシュベーカリー すまいる ・ ベーカリー&カフェ ほっとれ〜る ・ マインズ農業協同組合 神代支店

	<ul style="list-style-type: none"> ・ マインズ農業協同組合 調布支店 ・ 有限会社 勝文堂 ・ リサイクルショップ不思議屋 ・ リサイクルショップ夢市 ・ 希望の家深大寺 ・ 市民活動支援センター ・ 調布市希望の家分場 ・ 調布市希望の家本場 ・ 調布市こころの健康支援センター ・ 調布市社会福祉協議会
--	---

(3) カフェ&ショップめぐり実施結果

内容	<p>○期間中に協力店で買い物や飲食をし、台紙に各店舗のスタンプやサインをもらう。その台紙を総合福祉センター1階窓口にご持参いただき、回った店舗の数に応じて景品をお渡しした。</p> <p>○景品の区分は、A賞（11～13店舗回った方）、B賞（6～10店舗回った方）C賞（1～5店舗回った方）とした。</p>
景品交換人数	計34人（内訳：大32人、高校生以上1人、小学生1人）
各賞内訳	<p>A賞：12人</p> <p>B賞：5人</p> <p>C賞：17人</p>
協力店舗一覧	<ul style="list-style-type: none"> ・ カフェ大好き ・ リサイクルショップ夢市 ・ ティールーム・クッキングハウス ・ ふあんふあ〜れ ・ わかくさショップ ・ 調布WATスペース ・ Gallery&café Pedalo ・ フレッシュベーカリー すまいる ・ リサイクルショップ不思議屋 ・ かれーや ・ カフェギャラリー さえずり ・ ベーカリー&カフェ ほっとれ〜る ・ 空と大地と

○収益金（収益金、協力金、募金箱、街頭募金の合計）

	収益金
収益金	455,271円
協力金	1,479,483円
募金箱	82,749円
街頭募金	69,443円
合計	2,086,946円

○収益金配分（配分先及び金額）及び経費

1 福祉団体	180,000円
1 調布市身体障害者福祉協会	54,000円
2 NPO法人調布心身障害児・者親の会	54,000円

3	調布市視覚障害者福祉協会	24,000円
4	調布市聴覚障害者協会	24,000円
5	調布市遺族厚生会	24,000円

2	障がい者等の当事者グループ	72,000円
1	フリーフライト	24,000円
2	CCD（調布市障害者協議会）	24,000円
3	さるすべり	24,000円

3	障がい者施設 （心身障がい者（児）通所授産施設、心身障がい者（児）通所訓練施設、作業所、デイサービス他）	624,000円
1	NPO 法人わかばの会 わかば第一事業所	42,000円
2	NPO 法人わかばの会 わかば第二事業所	
3	NPO 法人わかばの会 わかば事業所	
4	NPO 法人ひなげしの会 第1ポピーの家	42,000円
5	NPO 法人ひなげしの会 第2ポピーの家	
6	NPO 法人ひなげしの会 第3ポピーの家	
7	NPO 法人爽々苑 爽々苑	33,000円
8	NPO 法人爽々苑 爽々苑やわらぎの家	
9	社会福祉法人調布を耕す会 しごと場大好き	33,000円
10	社会福祉法人調布を耕す会 カフェ大好き	
11	NPO 法人エクセルシア リサイクルショップ不思議屋	24,000円
12	NPO 法人クッキングハウス会 第1クッキングハウス（ティールーム）	42,000円
13	NPO 法人クッキングハウス会 第2クッキングハウス（レストラン）	
14	NPO 法人クッキングハウス会 第3クッキングハウス（クッキングスター）	
15	NPO 法人リフレッシュ工房 リフレッシュ工房	24,000円
16	NPO 法人羽ばたく会 めじろ作業所	24,000円
17	NPO 法人ふみ月の会 ふみ月チャレンジ染地	33,000円
18	NPO 法人ふみ月の会 ふみ月チャレンジふみ月の家	
19	NPO 法人ポコポコ・ホッピング ポコポコ・ホッピング神代団地	33,000円
20	NPO 法人ポコポコ・ホッピング ポコポコ・ホッピング富士見町	
21	NPO 法人にこにこの会 にこにこキッズルーム	33,000円
22	NPO 法人にこにこの会 ふくふく	
23	NPO 法人ちょうふの風	24,000円
24	社会福祉法人新樹会 創造農園	24,000円
25	社会福祉法人くすのき会 調布くすの木作業所	42,000円
26	社会福祉法人くすのき会 シェア	
27	社会福祉法人くすのき会 結の里	
28	社会福祉法人新の会 はあと・ふる・えりあ	24,000円
29	社会福祉法人大泉旭出学園 旭出調布福祉作業所	33,000円
30	社会福祉法人大泉旭出学園 調布福祉園	

31	NPO 法人高次脳機能障がい者活動センター調布ドリーム	24,000 円
32	NPO 法人調布心身障害児・者親の会 ぴいす	33,000 円
33	NPO 法人調布心身障害児・者親の会 下石原ぴいす	
34	一般社団法人生活支援ネットアーリーバード アーリーバード	33,000 円
35	一般社団法人生活支援ネットアーリーバード アーリーバード柴崎	
36	NPO 法人ファーストステップ 就労継続支援 B 型事業所 ファーストステップ	24,000 円

4	高齢者施設 デイサービス、介護施設他	57,000 円
1	社会福祉法人桐仁会 ちょうふ花園	24,000 円
2	社会福祉法人至誠学舎立川 至誠ホーム調布若葉ケアセンター	33,000 円
3	社会福祉法人至誠学舎立川 至誠ホーム調布柴崎ケアセンター	
5	社会福祉協議会 (小地域交流事業など地域福祉活動事業費として)	140,000 円

6	福祉まつり運営経費	1,018,225 円
1	会場設営業務委託及びテント等賃借料	715,000 円
2	広報費	126,359 円
3	賃借料	57,100 円
4	教養娯楽費（風船代等）	29,766 円
5	諸謝金	14,000 円
6	その他事務経費	76,000 円

合計		2,091,225 円
----	--	-------------

分析・課題

- 例年よりも規模は縮小されたが、3年ぶりに会場に対面型の企画（テントでの販売・相談コーナー・ぬりえコーナー）を実施することができた。
- コロナ禍で新しく始めたオンライン動画配信や募金・協力金での参加企画を令和4年度も実施。多くのご支援・ご協力をいただいたが、令和5年度は例年の形に戻したいという参加団体の意見も多数寄せられているため、企画数はじめ福祉まつり全体の規模も含め検討していく必要がある。
- 3年ぶりに会場開催することを広く周知するため、広報ポスターやチラシの事前配布・当日プログラムの配布など、広報活動を強化して行った。一方、コロナ禍での実施に伴い企画検討や準備等に時間を要し、十分な周知期間を確保できなかったことが反省としてあげられる。
- 例年と異なる企画も多くあったが、社協内部への共有・報告が不十分であったため、今後はこまめな情報発信を心掛け、今まで以上に職員一丸となって事業を盛り上げていきたい。
- 引き続き新型コロナウイルスの影響により、出店希望団体数が減少し土日で出展数に偏りがみられた。今回は調布市役所各部署のPRブース出展により調整を図ったが、今後は新規出展希望団体の取扱いも含め、出展団体の調整が必要である。
- 年々収益金の減少が続いており、今後、配分金や会場設営等運営経費の捻出が難しくなる可能性もある。配分金のあり方や運営方法について検討し、変更していく必要がある。

(2) 普及事業

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)①	会員募集運動	会歳			

結果の概要

- 新型コロナウイルスの影響で一部運動に制限はあったが、年間を通して会員募集を行った。
- 小地域交流事業等、地域で取り組まれる活動での周知はイベントの中止や休止のため実施できなかった。

実績等

- 新型コロナウイルスの影響で一部運動に制限はあったが、年間を通して会員募集を行った。

実施時期	実施団体
7月	民生児童委員協議会会長会 第1～6地区民生児童委員協議会
1月	調布市老人クラブ連合会単位クラブ 市内法人・団体

分析・課題

- 会員募集と同時に、社協や地域福祉活動の認知度を高めていく必要がある。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)②	赤い羽根共同募金運動	共			

結果の概要

- 共同募金運動の推進のために、調布地区協力会に協力して募金活動を行った。
- 募金運動期間は10月1日～3月31日であるが、例年実施している自治会説明会については、中止とした。
- 自治会に向けた募金協力依頼については、事前にアンケート調査を行い、回答に従って資材を準備し、協力を依頼した。
- 街頭募金については、感染防止対策を講じ、下記の日程で開催をした。

団体	日程
調布市老人クラブ連合会	10月1日
NPO 法人リフレッシュ工房	10月4、5日
調布市少年野球連盟	10月8日
調布市少年サッカー連盟	10月16日、22日
爽々苑	11月7日～11日

- 引き続きFC東京の協力を得て、新型コロナウイルス感染対策を講じながら、味の素スタジアム内でのチャリティーコラボピンバッジの販売（1,300個）と募金活動を実施した。

- 地域で集めた募金を地域で活用する「地域配分（B配分）」の受配施設・団体にポスター掲示や募金箱の設置を依頼し、募金運動への協力を呼びかけた。
- 東京都共同募金会が各地区に導入した auPAY アプリによるオンライン募金受付に加え（令和5年3月20日で終了）、調布地区独自でもクレジットカードで支払えるオンライン募金受付システムを導入し、場所や時間にとられない募金方法の拡大を図った。

実績等

①募金実績

方法	募金額
個別募金	5,226,629円
街頭募金	587,620円
合計	5,814,249円

②理事会等開催状況

開催日	項目	内容
4月13日	監査	○令和3年度事業監査
4月25日	共同募金調布地区協働会第1回理事会	○会長の選任について、副会長の選任について ○令和3年度共同募金調布地区協働会事業報告について ○令和3年度共同募金調布地区協働会募金会計収入支出決算について ○令和3年度共同募金調布地区協働会事務会計収入支出決算について （監査報告） ○令和4年度共同募金調布地区協働会赤い羽根共同募金実施要項について ○令和4年度共同募金調布地区協働会事業計画について ○令和4年度共同募金調布地区協働会募金会計収入支出予算について ○令和4年度共同募金調布地区協働会事務会計収入支出予算について
中止 （紙面送付）	共同募金調布地区協働会第2回理事会	○令和4年度募金活動について ○第34回福祉大会ご案内
中止	東京都共同募金会説明会	○令和4年度共同募金運動について
中止	共同募金協働依頼及び取り扱い説明会	○自治会長に出席いただき募金活動の協働依頼と取扱いに関する説明会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。
10月5日	第34回福祉大会	○共同募金協働者へ表彰等を行った。 《表彰状》継続協働9人・5団体 《感謝状》5団体・6名
10月8日	FC 東京×赤い羽根共同募金協働企画	○限定コラボピンバッジを令和3年度より100個増やした1,300個販売をし、完売。

10月30日 11月3日 11月6日	第11回赤い羽根少年野球大会	○募金を頂いた方に青赤の羽根をお渡しした。 ○東京都共同募金会のキッズサポーター事業の一環として開催した。 ○多摩地域の野球連盟を代表するチームがトーナメント形式で対戦した。
--------------------------	----------------	---

分析・課題

○自治会からの協力件数・募金額も9件100万程上回り、街頭募金も再開したことで令和3年度と比較し40万以上の増額となった。今後自治会加入率も減少している中で、自治会のない地域やマンション等への周知を行っていく必要がある。

番号	事業名	財源			
		自主 歳	補助	委託	事業
(2)③	歳末たすけあい運動				

結果の概要

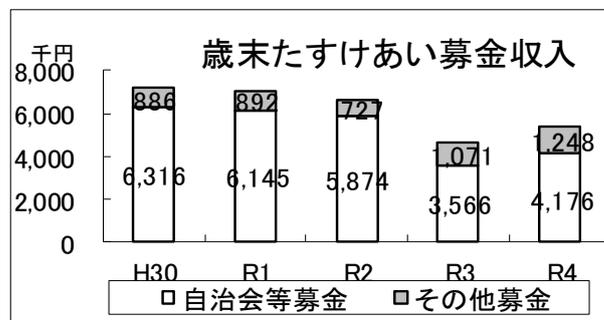
- 地域福祉活動を幅広く展開し充実させるため、自治会や調市民生児童委員協議会等の協力を得て、「歳末たすけあい運動」を実施した。
- オンライン決済システムにてクレジットカードでお支払いいただき、7件12,941円の納入をいただいた。
- 例年どおり、民生児童委員への依頼とともに、市内法人・個人宛にダイレクトメールで募金協力を依頼した。新型コロナウイルス拡大防止の影響などによりコロナ禍以前より減少した実績ではあるが、令和3年度と比較して令和4年度も回復傾向にあった。

実績等

- 12月1日～31日が募金運動期間であるが、例年、募金の受付は翌1月末までとしている。
- 集められた募金は翌々年度の地域福祉活動費やチラシ・ポスターの印刷費などの事務費として配分される。

募金実績（収入）

区分	件数	金額（円）
①自治会	220件	4,345,022
②法人・団体	63件	543,317
③個人・他	111件	856,742
④募金箱	9件	5,619
⑤R4.2～R4.3受付募金 （前年度繰越金）	8件	44,549
⑥R5.2～R5.3受付募金 （次年度繰越金）	7件	19,101
合計	418件	5,814,350



※令和4年度募金運動の受付締切は令和5年1月31日までとなっており、それ以降に受け付けた募金は令和5年度募金収入（繰越金）として取扱う。そのため、令和4年度募金実績として報告する額は、上記合計額から⑥を除いた額(5,795,249円)となる。

分析・課題

○全国的に募金額が減少傾向にあり、調布市においても同様である。自治会の解散や高齢化による活動の縮小化の影響もあり今後の増額は難しい状況である。令和3年度と比較し増額したものの、件数の減少とりわけ個人の件数の減少は顕著である。地域福祉の向上に向けてPRの方法を工夫するなど、今後の依頼方法や広報について模索したい。

(3) 宣伝事業

番号	事業名	財源			
		自主 共基	補助 市	委託	事業 ○
(3)①	機関紙「ふくしの窓」の発行				○

結果の概要

- 社協活動の周知と福祉・地域に関する情報を発信するため、機関紙「ふくしの窓」を6回発行し、市内全戸にポスティング配布した。
- ポスティング作業については、福祉への理解と市内の障がい者・高齢者の雇用創出を目的として、調布市福祉作業所等連絡会及び公益社団法人調布市シルバー人材センターへ引き続き依頼した。
- より見やすくわかりやすい誌面になるよう、フォントの統一や、わかりづらい用語の注釈記載、写真やイラストなどの積極的な活用に努めた。
- 1～3面の特集記事については、社協が実施している事業を特集し、多くの市民に事業や活動を知ってもらう機会となった。

実績等

発行部数	1回につき118,000部
形式・内容	タブロイド版、8面構成。カラー印刷
発行日	奇数月の10日
配布方法	市内全戸へのポスティングによる配布、関係機関窓口、希望者への郵送
モニター	モニター12人より意見を聞き、紙面づくりに反映させた。
その他	7月号に会費の郵便振込用紙をミシン目で切り取れる形で掲載した。

分析・課題

- 令和3年度に引き続き、各面とも写真の掲載を増やし、活動の様子や内容についてわかりやすい紙面になるよう心がけた。また今後も色使いや割付を含め、検討していく。
- 1面から3面については、社協が実施している事業を特集したことで、事業について市民や福祉事業所などから問合せや見学希望などの反響があった。今後もさらに事業や活動を知ってもらえるよう、特集を組んでいきたい。

番号	事業名	財源			
		自主 基	補助 市	委託	事業 ○
(3)②	社協ホームページの運営				○

結果の概要

- 新型コロナウイルス関連等、最新の情報を発信するため、随時更新作業を行った。
- 問い合わせフォームへの連絡に対しては、各事業担当者と内容を確認しながらスピーディーな回答を

心がけた。

○法人ホームページのウェブアクセシビリティが適合レベルAAに一部準拠した。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)③	SNS の活用				

結果の概要

○令和2年度開設したYouTubeチャンネルを活用し、福祉まつり等の事業や地域福祉に関する情報を発信した。

○令和4年度までの累計で登録動画数68本、視聴回数1,552,459回、チャンネル登録者数9,180人であった。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)④	「社協のしおり」の発行	共基	市		○

結果の概要

○令和4年度は2,000部発行した。

○各部署と協力し、最新の情報とわかりやすい内容に努めた。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)⑤	地域マスメディアの活用				

結果の概要

○調布FMの毎月第3木曜日午後1時30分から45分までの「調布市ほっとインフォメーション」の時間枠の中で、社協情報を紹介した(計12回)。

○毎月1日発行の調布市民放送局広報紙「調布市民放送局ニュース」にて、事業や施設の紹介、イベントや講座のPRを「調布社協ちょビットインフォメーション」として掲載した(計12回)。

実績等

○調布FM出演状況

4月14日	通所介護サービス係事業紹介 地域福祉コーディネーター
5月19日	あんしん未来事業 見守りあんしん訪問事業
6月16日	調布市社会福祉協議会「ちょビット協力金募集」 就労支援室ライズ「就労講演会」
7月21日	電話訪問 介護職員初任者研修受講生募集
8月18日	地域活動支援センター「ドルチェ」夏の作品展

	事業紹介と送迎協力員募集案内
9月15日	第34回調布市福祉大会 こころの健康講演会
10月20日	令和4年度 赤い羽根共同募金運動 ちょうふチャリティーウォーク 10/22 開催
11月17日	第45回調布市福祉まつり 令和4年度 歳末たすけあい運動
12月15日	放課後等デイサービス「ぴっころ」 さるすべりシニア調布（市老連）
1月19日	地域福祉権利擁護事業 いきいき調理運営協議会
2月16日	令和5年度地域福祉活動支援事業募集スタート 手話講習会・中途手話受講生募集
3月16日	ボランティア保険 地域支え合い推進員及び地域住民による活動紹介

○市民放送局広報紙掲載状況

4月	「しあわせ・福祉・はこぶ箱」募金箱設置のお願い
5月	地域支援係 事業紹介
6月	通所介護サービス係 事業紹介
7月	ちょビット協力金募集
8月	ちょうふ地域福祉権利擁護センター事業紹介
9月	生活支援係講演会配信のお知らせ
10月	赤い羽根共同募金運動
11月	調布市福祉まつり
12月	歳末たすけあい運動
1月	希望の家紹介
2月	福祉人材育成係 資格研修
3月	市民活動支援センター まち活フェスタ

分析・課題

○年間の出演テーマを精査し優先順位をつけるなどして、調整していく。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)⑥	ウインドウ美術館				

結果の概要

- 総合福祉センター北側ウインドウを提供して、市内の福祉施設の求人情報を掲示した。
- 調布市認知症サポート月間についてのPRを行った。
- 配偶者暴力根絶を訴えるパープルリボンプロジェクトのパネル展示を行った。

○調布市地域福祉活動支援事業の展示を行った。

5 関係機関との連携

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	役員等の他機関参画				

結果の概要

○調布市、東京都社会福祉協議会その他関係団体の45の委員会等へ役員・職員が参加した。

実績等

○各団体からの要請に伴い役職員が出席し、求められる役割を果たした。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)	民生児童委員				

結果の概要

○民生児童委員との連携強化のため各種協議会に参加し事業の周知、協力依頼などを行った。

○「社協事業」の理解を得るために各地区の協議会において説明を実施した。

実績等

○民生児童委員全員協議会、民生児童委員会長協議会、地区民生児童委員協議会、民生児童委員各部会へ管理職、担当職員が適宜参加した。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)	自治会				

結果の概要

○会員募集運動や募金運動へのご協力に関するアンケートを実施し、回答をもとに資材を配達した。

協力依頼を行う説明会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

実績等

○自治会への説明会

回	開催日	内 容
第1回	6月15日	令和4年度会員募集運動の協力依頼と説明会 →中止
第2回	9月14日	令和4年度共同募金の協力依頼と説明会 →中止
第3回	11月16日	令和4年度歳末たすけあい運動の協力依頼と説明会 →中止

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(4)	調布市自治会連合協議会				

結果の概要

○連合協議会の理事会に参加として職員1人を派遣した。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(5)	北多摩南部ブロック連絡会				

結果の概要

○社協北多摩南部ブロック連絡会の総会や連絡会、研修会等に参加し、近隣5市社協での情報交換、交流を行った。(令和3年度幹事社協は、三鷹社協)

実績等

会議・研修会等	開催日	内 容
第1回事務局長会	6月14日(火)	① 北多摩南部ブロック社協会長等役職員連絡会総会について ② 情報交換
第2回事務局長会	1月13日(木)	① 北多摩南部ブロック社協会長等役職員連絡会研修会について ② 情報交換
会長等役職員連絡会総会 (三鷹社協)	7月28日(木)	① 令和3年度事業報告、決算、監査報告について ② 令和4年度事業計画(案)、予算(案)について
会長等役職員連絡会研修会 (三鷹社協)	2月20日(月)	研修テーマ 「若者支援の現状」 講師：東京ボランティア・市民活動センター 副所長 高山 和久氏
第1回職員連絡会	6月27日(月)	① 令和4年度職員交流会について ② 令和4年度職員研修会について ③ 情報交換
第2回職員連絡会	7月11日(月)	① 令和4年度職員研修会について ② 情報交換
第3回職員連絡会	9月26日(月)	① 令和4年度職員研修会について ② 情報交換
職員研修会	10月18日(火)	研修会「外国人対応について社協職員が知っておくべきこと」 講師：新居 みどり氏(NPO法人 国際活動市民中心(CINGA)) Zoomを利用したオンライン研修

第1回地権連絡会	12月5日(月)	① 地域福祉権利擁護事業の実施状況について ② 情報交換
第2回地権連絡会	2月17日(金)	① 地域福祉権利擁護事業の実施状況について ② 情報交換

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(6)	調布市福祉作業所等連絡会				

結果の概要

○調布市内障害福祉団体の情報交換及び共同作業事業を目的とする連絡会の事業に、「希望の家」、「障害者地域活動支援センタードルチェ」、「放課後等デイサービスぴっころ」が参加した。また、希望の家より1人、障がい者支援係より2人の職員を派遣した。

実績等

代表者会議	定期総会、市長との懇談、調布市障害福祉課との懇談等、年6回実施
学習会	希望の家職員6人、障がい者支援係職員1人参加
交換研修	希望の家職員6人、障がい者支援係職員1人参加
映画上映会	わかくさショップでのチケットの販売や、当日の運営を担った。
ほりて～ ぷらん	調布市障害者余暇活動支援事業として6回実施した。新型コロナウイルス感染拡大予防対策で午前だけの企画で実施した。内容は、FC東京とサッカー、東芝プレイブルーパスとラグビー、リクシルディアーズとのアメフト、ダンス企画、パラスポーツ体験、新宿でのダイバーシティパークへのイベント参加等、多様な行事を実施した。
ほっとハート	調布駅前で開催。テント設営等の協力をした。
運動会	新型コロナウイルス感染拡大のため中止
共同受託事業	公園清掃、ごみリサイクルカレンダー配布、ふくしの窓配布などを手分けして実施した。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(7)	地域包括支援センター連絡会				

結果の概要

○毎月第3木曜日に開催される。調布市福祉健康部各課や地域包括支援センターへ共有・広報事項がある際は、掲示板での掲載を依頼した。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(8)	権利擁護連絡会				

結果の概要

○5・7・9・12・2月に開催された連絡会に参加し、調布市高齢者支援室や地域包括支援センター、調

布市福祉総務課との情報共有や事例等を通して権利擁護についての理解を深めた。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(9)	調布市障害者地域自立支援協議会				

結果の概要

○調布市自立支援協議会のワーキンググループの一つを担い、障がい者福祉の相談及び支援機関・障がい者団体等を中心にネットワークづくりを進めた。

第1部 P101 参照

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(10)	調布地域精神保健ネットワーク連絡会				

結果の概要

○調布域精神保健ネットワーク連絡会の事務局を担い、医療と福祉が連携し、問題解決の方向性を検討した。

第4部 P27 参照

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(11)	調布市社会福祉法人地域公益活動連絡会（調布社福連）（重点項目）				

結果の概要

○新型コロナウイルスの影響もあり、フードドライブは3回の開催となったが、令和3年度に続き、株式会社パルコ調布店、トリエ京王調布が参加し、企業との連携も深まった。また、京王電鉄株式会社、調布市からレトルト食品やアルファ米、パンの缶詰などをご寄付いただき、市内福祉施設や団体に広く配付することができた。

○幹事会は感染防止のため、原則オンラインで6回開催した。フードドライブやなんでも相談窓口の現状報告、またガイドブック作成の進捗や法人間の連携について意見交換を重ねた。

○第2回総会で地域福祉コーディネーターの役割について学ぶ研修を実施し、調布社福連との今後の連携や取組の参考にした。

実績等

総会 (40 法人)	第1回 5月12日 15 法人出席 来所及びオンラインでのハイブリッド形式で開催した。 ・令和3年度事業報告・決算 ・令和4年度事業計画・予算 ・なんでも相談窓口規約の制定 第2回 1月12日 12 法人出席 来所及びオンラインでのハイブリッド形式で開催した。 ・研修会「CSW（地域福祉コーディネーター）の活動内容と事例」
---------------	---

	<p>講師：乙黒隆一地域福祉コーディネーター、長谷川紀江地域福祉コーディネーター</p> <p>研修会は録画し、欠席法人のために後日配信した</p>
<p>幹事会 (8法人)</p>	<p>第1回 4月21日 ※オンライン開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告及び決算(案)、令和4年度事業計画及び予算(案)について ・令和4年度第1回総会について ・なんでも相談窓口規約について ・監事の増員について ・第1回フードドライブについて <p>第2回 7月6日 ※オンライン開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度第1回総会の報告 ・第1回フードドライブ報告 ・なんでも相談窓口の現状と今後の課題 ・令和4年度第2回総会日程について ・幹事の増員について ・地域福祉コーディネーターとの連携について <p>第3回 9月15日 ※オンライン開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度第2回総会について ・ガイドブックの進捗について ・第2回フードドライブについて <p>第4回 11月11日 ※オンライン開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回フードドライブの報告 ・令和4年度第2回総会について ・ガイドブックの進捗について <p>第5回 1月12日 ※オンライン開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度第2回総会について ・ガイドブックの再確認について ・第3回フードドライブについて <p>第6回 3月2日 ※オンライン開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3回フードドライブの報告 ・令和5年度第1回総会について
<p>取組</p>	<p>調布市が主催するフードドライブに、株式会社パルコ調布店、トリエ京王調布、調布市消費者団体連合会とともに協力した。</p> <p>第2回は、調布市主催の環境フェアにおいて実施した。</p> <p>第1回、2回は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、人が集まったの配付はせず、幹事が各施設や団体をまわってお届けしたが、第3回は配付日時を決め各施設や団体に取りにきていただいた。</p> <p>第1回 フードドライブの実施 6月29日 15法人参加 4,345点の食品を収集し、福祉施設やボランティア団体等11団体に配付した。</p> <p>第2回 フードドライブの実施 10月22日 16法人が参加 1,879点の食品を収集し、福祉施設やボランティア団体等12団体に配付した。</p> <p>第3回 フードドライブの実施 2月17日 13法人が参加</p>

	6,409点の食品を収集し、福祉施設やボランティア団体等20団体に配付した。
--	--

6 計画の推進・策定

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	調布市地域福祉活動計画の推進・策定				

結果の概要

- 「第5次調布市地域福祉活動計画」の実現のため、令和4年度より福祉圏域の8圏域における地域活動や職員全体で取り組む小地域交流事業により地域福祉の向上を目指した。
※小地域交流事業の報告についてはP66参照
- 第6次地域福祉活動計画策定に向けて、職員全体を対象に研修を実施した。
テーマ「事業を通じての地域共生社会を考える」
講師 東京都立大学准教授 室田信一氏
2月2日及び2月7日の2回実施

全域

- 全域策定委員会進め方や位置づけ、策定委の選出について室田信一アドバイザーを交えて検討した。
- 全域策定委員会と8圏域の策定会議の位置付けについて、計画の推進を視野に入れて議論し、イメージづくりを進めた。
- 職員や地域住民にわかりやすい計画の全体イメージ概要版を作成し住民への説明に活用した。

8圏域

<緑ヶ丘・滝坂小学校地域>

推進

- スマホを楽しむ会やフリースペースごりら等、地域の居場所と新たな担い手の発掘を推進することができた。

策定

- 圏域策定会議に向けた職員会議を3回実施し、地域特性の共有や策定会議のメンバー決め、会議内容を検討した。

<若葉・調和小学校地域>

推進

- 地域の貧困や孤食の課題解決のために子ども食堂「坂の上のばあちゃん家」の立ち上げ支援を行い、実施に至った。

策定

- 圏域策定会議に向けて職員会議を3回実施した。3月に第1回目の策定会議を希望の家分場で実施し、12名の地域住民が参加した。

<上ノ原・柏野小学校地域>

推進

- だれもが迎える最期について、普段話しにくいことを地域の中で語りあい、学びあうことのできる場を目指した「げんじ蛍の会」の立ち上げ準備を行った。

策定

○圏域策定会議に向けて職員会議を4回、地域に詳しい住民との地域巡りを1回実施した。地域住民を中心とした15人に声掛けをした。

○3月16日に第1回圏域策定会議を佐須児童館で開催した。12名の地域住民が参加した。

「この地域の好きなおところ・いいところ」をテーマに話し合い、たくさんの意見が挙がった。

<北ノ台・深大寺小学校地域>

推進

○新しい地域の居場所づくりに向けて働きかけを行い、スタディールームやハナこども食堂等が立ち上がった。

策定

○圏域策定会議に向けて職員会議を3回実施した。

<第二・八雲台・国領小学校地域>

推進

○小地域交流事業のつながりにより障がい平等研修を開催し「地域共生社会」について考察を深めただけでなく地域における活動への取り組みの見識を深めた。

策定

○圏域策定会議に向けて職員会議を3回開催した。また八雲台ふれあいの家を使用した子育て世代に向けたイベントを企画し、広い世代への意見集約を行った。地域住民を迎えた第1回第二・八雲台・国領圏域策定会議を3月に開催した。

<染地・杉森・布田小学校地域>

推進

○多摩川住宅の住民や地域の関係機関とともに、多摩川住宅内の仮設店舗の一角の空き店舗を利用して、週4日誰でも気軽に立ち寄れる地域の居場所「みんなの部屋」の立ち上げ支援を行った。

策定

○圏域策定会議に向けて地域住民6名にお声掛けをし、圏域策定会議の準備会を1回実施した。準備会にて、会議の進め方の検討を行った。また4月開催予定の第1回圏域策定会議へ向けて、準備会参加の地域住民6名とともに、会議に参加してほしい地域住民へのお誘いを開始した。

<第一・富士見台・多摩川小学校地域>

推進

○小地域交流事業のつながりにより地域の特徴や必要性など、この地域で何が必要かを話し合う機会をもち、今後の地域の活動等やイベントなどの内容に関して検討した。

策定

○圏域策定会議に向けて職員会議を3回行い、3月に第1回圏域策定会議を実施し、22名が参加した。住みやすい地域、地域の良いところを話し合い、お互いの価値観や資源の共有を行った。

<第三・石原・飛田給小学校地域>

推進

○身近な地域でのつながりづくりを目的に、かみいしわたんぼぼ子ども食堂が、西部公民館を会場に活動を開始した。

策定

○圏域策定会議に向けて職員会議を3回実施した。また4月開催予定の第1回圏域策定会議へ向けて、地域住民へのお誘いを開始した。

分析・課題

- 社会福祉協議会全体で8つの福祉圏域ごとでの活動計画策定は、初めての取り組みであり、職員間のチームワークや意識の統一を図りながら進めていくことが必要といえる。
- 8圏域から抽出されたテーマをとりまとめ、全域のテーマと融合させていく作業が必要であることから、全域策定委員会での意見を取り入れながら、次期計画推進を意識した計画策定となるよう全域策定委員会の内容を工夫していく。
- 全体的なスケジュールを策定に関わる地域住民や職員に提示し、各圏域の進行状況を見ながら GSW 並びに SC が中心となり、社会福祉協議会全体で進めていく。

7 苦情対応

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	苦情対応				

結果の概要

- 苦情解決実施要綱に基づいた苦情の申出は0件であったが、寄せられた苦情・要望は、サービスを改善する機会ととらえ丁寧な対応と即時性ある改善に取り組んだ。
- いただいた苦情・要望は、第三者委員会議へ報告し意見をいただいた。

実績等

- 苦情・要望の種類別受付件数

	種類（内容）	合計（件）
1	建物、環境整備の不具合や迷惑	0
2	職員の対応への不満	4
3	職員のケアレスミスの指摘	0
4	利用者サービスへの不満	0
5	その他事業内容への不満	3
6	会費や募金についての疑問や不満	0
7	その他	3
合計		10

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)	第三者委員会議	基			

結果の概要

- 2回の第三者委員会議を開催した。
- 調布市希望の家、希望の家深大寺も別に2回の第三者委員会議を開催した。
- どちらも、苦情処理要綱に基づく苦情は無かったが、事務局で対応した市民からの苦情、ご意見、事故等に対して助言及び意見をいただいた。

8 個人情報保護

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	個人情報の保護				

結果の概要

- 事業利用に伴う契約時や申請時に個人情報取扱業務説明書を基に、利用者へ説明を行った。
- 個人情報を掲載する文書の使用に当たっては、使用目的を制限する取扱注意事項を明記し、個人情報の保護を徹底した。

9 危機管理体制

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	危機管理委員会、危機管理責任者の設置				

結果の概要

- 危機管理に対する職員の意識を向上し、事故の原因分析と防止のための改善策に取り組んだ。
- 事故・ヒヤリ・ハット報告で、係ごとに事故防止策に取り組んだ。
- 毎月実施される係長職以上の「運営会議」の中で、危機管理委員会を開催し、事故、ヒヤリ・ハット事例の報告を行った。
- 事故報告は定期的に、第三者委員会議、三役会、理事会及び評議員会に報告した

10 災害対策

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	災害時における事業継続計画（BCP）の推進				

結果の概要

- 災害時の安否確認に必要となる職員の緊急連絡網や事業の利用者名簿の更新を行った。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)	防災訓練の実施と備蓄品等の充実	会			

結果の概要

- 総合福祉センターの防災備蓄品の点検を行い、不足品目の補充を行った。
- 3月1日、総合福祉センターにおいて地震及び火災発生を想定し、自衛消防訓練を実施した。
- 4月、8月、12月の年間3回、職員及び施設管理委託業者と協働し、総合福祉センターの非常用放送設備の動作確認と館内の危険箇所の確認を行った。

実績等

- 総合福祉センターの防災備蓄品の点検によって、消費期限が近づいた水やアルファ米、缶詰については、ライフサポートでの食糧支援に活用した。
- 安全基準の期日を超えた防災用ヘルメットを29個購入し交換した。

分析・課題

- 災害備蓄品について、定期的に在庫の管理を行い、必要と思われる物については順次補充していく。
- 今後も、安全基準の期日を超えた防災用ヘルメットの交換を順次行っていく。
- 消防避難訓練の定期的な実施等により、職員の防災意識をより高めていく必要がある。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)	災害等復興支援について				

実績等

- 9月に発生した令和4年台風15号により甚大な被害を受けた静岡市清水区の災害ボランティアセンターに職員を派遣した。(派遣期間10月27日から31日まで)

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(4)	災害ボランティアセンターの準備				

第2部のP49参照